

実習内容
ならびに
スケジュール

歯科口腔外科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション・口腔外科症例検討	野口	9:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	病棟処置見学	吉川	10:30	1号館9階東病棟 処置室
	昼食			
	症例検討（インプラント、骨移植）	上田	13:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	相互実習（印象採得・パノラマ撮影）	野阪	14:15	2号館3階口腔外科外来
	教授回診見学	岸本	15:30	1号館9階東病棟 処置室
火	手術見学	吉川	9:00	急性医療総合センター手術室
	昼食			
	相互実習（オーラルフレイル）	徳本	13:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	相互実習（口腔内細菌感染）	加島	14:15	2号館5階口腔外科セミナー室
	症例検討（良性腫瘍、悪性腫瘍）	埴	15:30	2号館5階口腔外科セミナー室
水	症例検討（歯科と関連のある全身疾患）	野阪	9:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	症例検討（一般歯科治療について）	富本	10:10	2号館5階口腔外科セミナー室
	歯科技工見学・体験	歯科技工士	11:10	2号館3階口腔外科外来
	昼食			
	外来診療見学・体験	大森	13:00	2号館3階口腔外科外来
	口腔衛生指導実習	歯科衛生士	14:30	2号館3階口腔外科外来
	臨床講義・総括	岸本	15:35	2号館5階口腔外科セミナー室
木				
金				

◎ 診療科名： 歯科口腔外科

◎ 責任者氏名： 岸本 裕充 主任教授

◎ 指導教員氏名： 富本 康平 助教

◎ 実習概要

1.症例検討、2.教授回診、3.病棟・外来実習、4.模擬実習（口腔内相互実習・口腔内細菌観察）、5.模擬実習（口腔衛生指導実習）、6.模擬実習（歯科技工実習）、7.模擬実習（オーラルフレイル検査）、8.手術見学、9.その他各種検査・処置・治療の見学などを行い、歯科・口腔外科領域において的確な診断と治療方針の立案を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・ 歯科・口腔外科領域における主要疾患についてアセスメントができる。
- ・ 歯科・口腔外科領域の患者の基本的診察法をしている。
- ・ 基本的な検査ができる。
- ・ 治療計画を立てることができる。
- ・ 患者の立場に立った対応ができる。

◎ 準備学習ならびに事後学習に要する時間

- ・ 教科書歯科・口腔外科領域の総論を読んでもらうこと（2 時間程度）
- ・ 3 年次の講義資料をよく復習すること（2 日）
- ・ 歯科・口腔外科領域の国家試験過去問を解いておくこと（3 時間）

◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、病態の把握について評価。
評価基準をループリックで明示。

	1	2	3	4	5
知識★	全く知識がない。	一部の疾患について理解している。	代表的な疾患の概略を説明できる。	代表的な疾患についてアセスメントができる。	代表的な疾患について治療計画を説明できる。
	全く理解していない。	国家試験レベルの内容を一部分理解している。	国家試験レベルの内容を大部分理解している。	国家試験レベルの内容は十分理解している。	国家試験レベルの内容を他生徒に指導できる。
態度（積極性）★	実習内容に興味を示さない。	消極的で質問がない。	ノルマはこなしているが、やや消極的である。	積極的に質問もよくする。	積極的に、他生徒とカンファレンスができる。
コミュニケーション★	話を聞いていない。	話を聞くだけで自ら発信しない。	質問や話し相手の話に反応して反応する。	自ら話題を提供し、双方向のやり取りを主導する。	相手の感情や状況を深く理解し、共感を示す。
病態の把握	評価する知識が全くない。	自分自身に対し、口腔衛生が適切にできているか否か評価できる。	患者さんの口腔衛生指導で、不十分な点に気付くことができる。	適切に病態を把握し、口腔衛生指導ができる。	適切に病態を把握し、口腔衛生指導方法を他生徒に指導できる。

◎ 中間評価とフィードバック

実施しない。

◎ 注意事項

- ・ 初日は9時 00 分に 2 号館5階歯科口腔外科セミナー室に集合すること。